

予算特別委員会報告

予算特別委員会の報告を行います。

去る6月5日の本会議において付託されました案件について、6月9日、委員13名出席のもと委員会を開催しました。

当局に關係職員の出席を求め、慎重に審査した経過と結果をご報告いたします。

付託されました案件は、議案第58号 令和7年度上野原市一般会計補正予算 第1号 及び 議案第59号 令和7年度上野原市簡易水道事業会計補正予算 第1号の2件です。

審査は、關係課に説明を求め、その後質疑・採決を行いました。

今回の補正予算は、市長選挙の執行に伴う骨格予算として編成した当初予算に肉付けを行うもので、政策的予算や投資的予算など10億4千673万8千円を計上したとのことです。

議案第58号 令和7年度上野原市一般会計補正予算 第1号 について、主な歳入内容としては、地方交付税では、骨格予算である当初予算で保留していた地方交付税の交付見込額1億1千734万8千円、国庫支出金1億9千58万2千円、県支出金5千310万4千円を増額補正するものです。

繰入金では、各事業の財源として、財政調整基金、公共施設整備基金1億8千477万5千円を増額補正するものです。

市債では、緊急自然災害防止対策事業債1億6千480万円、過疎対策事業債2億1千210万円を増額補正するものです。

次に、歳出の主な補正内容は、総務費では、上野原市シティプロモーションの戦略策定や事業検討を行う業務に596万2千円、地域活性化の取り組みに知見を有する総務省の外部専門員から指導・助言を受けて取り組みを行う事業に531万3千円、秋山地区複合施設整備基本計画策定支援業務1千267万4千円、デマンドタクシーの土曜日運行の追加負担金855万3千円を増額補正するものです。

委員からの、シティプロモーション推進業務委託と外部専門家業務委託は、どのような財源内訳になるのか、という質問については、外部専門家業務については上限額590万円の総務省の制度を活用し、シティプロモーション推進業務については一般財源である、との説明がありました。

また、秋山地区複合施設建設にあたっては、区長会の役員、民生委員、各種委員をメンバーとした協議会を作り、地元の意見を聞きながら、調整を行い進めてほしいという意見が出されました。

さらに、月曜日から土曜日のデマンドタクシーの利用状況の質問については、土曜日運行を実施するにあたり、平日の乗り合いが減ることを懸念していたが、土曜日運行をしても平日の運行が昨年度と比べて下がっていないため、土曜日運行についても需要がある状況、との説明がありました。

民生費では、結婚生活応援事業120万円、認定こども園の外周フェンス改修工事466万4千円を増額補正するものです。

委員からの、結婚生活応援事業の対象者が39歳以下の世帯となっているが、上野原市独自で40歳以上の方々が結婚した際に同様の制度を導入することは可能ではないのか、という質問について、国の交付金等を活用する中で実施しているため、国の交付要件が変更される可能性も考慮しつつ、状況を見極めながら、40歳以上に対しても効果的であるようなら、前向きに検討していきたい、との説明がありました。

また、上野原市としても人口を増やしたい、子育て世帯を増やしたいという思いで事業を行っているのであれば、国の補助金の有無ではなく、市として新しい事業を考えるべきではないか、との意見が出されました。

さらに、認定こども園のフェンスの高さが1.5メートルでは低いのではないのか、こどもの安全を第一に考え、十分に協議し、再度検討すべき、との意見が出されました。

衛生費では、昭和55年に建設された上野原市葬斎場の施設更新に向けた調査・検討事業と2号火葬炉全面積替等修繕に1千925万6千円、クリーンセンターにおける各施設の修繕等のため1億5千182万3千円を増額補正するものです。

農林水産業費では、脱炭素推進事業債を活用した、ふるさと長寿館と羽置の里びりゅう館のLED化事業等に1千253万4千円、緊急自然災害防止対策債を活用した林道法面の崩落等復旧工事に3千443万円を増額補正するものです。

商工費では、外国人観光客の受入環境の整備や国際的な知名度向上を目的とした「高尾山・リニア広域観光拠点地区連絡会」に加入するための負担金115万円、「やまなし上野原ジオパーク構想」について、日本ジオパーク認定に向けた取り組みに対して上野原市観光協会へ補助金300万円を増額補

正するものです。

土木費では、市道^{おくだいらみちうえすずがさわ}和見線道路改良工事や一古沢安寺沢線測量調査設計業務等で5千560万円、奥平道上鈴ヶ沢線舗装工事等で6千520万円を増額補正するものです。

委員からの、今回の建設課の事業の中には、脱炭素化事業が含まれていないが、秋山トンネルの照明のLED化に活用できないものなのか、という質問については、LED化を含め、脱炭素化事業の対象となるか確認していく、との説明がありました。

消防費では、ドローン購入費等に118万円、上野原市・大月市・都留市の3つの消防本部で管理する、県東部消防指令センターの指令システムの更新負担金等2千131万円、脱炭素推進事業債を活用する消防庁舎のLED化事業に444万8千円を増額補正するものです。

委員からのドローンは何機で、どんな機能をもっているのか、という質問について、導入は1機で静止画や動画の転送機能があるが、物資の搬送は行えない、との説明がありました。

また、LED照明の予算計上は、消防署本庁舎と出張所を含めた交換なのか、また、各地区の消防団の詰め所もLEDに変更していく予定があるのか、という質問については、桐原出張所はLED化されており、秋山出張所は、立て替えのタイミングで取り入れていきたいので、今回の補正は、本庁舎のみとし、詰め所については、今後検討していく、とのことでした。

教育費では、LANケーブルの改修、児童生徒用のパソコン購入費等のGIGAスクール構想事業に8千164万4千円、小学校屋内運動場への空調設備設置モデルパターン作成に416万9千円、市立ゆずりはら自然の里用地調査業務363万2千円を増額補正するものです。

次に、議案第59号 令和7年度上野原市簡易水道事業会計補正予算 第1号 については、収益的収入及び支出をそれぞれ605万2千円、資本的支出379万5千円を増額補正するものです。

以上、当局提出2案件については、採決の結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上、予算特別委員会の報告といたします。